はじめに

# インターネット社会の成熟に向かって

インターネットの発展は、日本社会にさまざまの影響を与えてきた。この1年間の日本におけるインターネットの発展の中で、多くの課題が浮かび上がってきている。たとえば、警察庁から提起された問題だけでも、不正アクセス防止法の制定をめぐる問題、風俗営業法改正に伴うアダルトコンテンツ規制、児童ポルノの犯罪性の法制化、ネット上の大規模組織犯罪の未然防止問題などが挙げられる。こうした諸問題は、一般社会の属性に他ならない。つまり、インターネットユーザー人口が全人口の10%に到達した現在、この現実の社会に存在するあらゆる課題が、インターネット社会にも存在するようになったと考えられる。

インターネットそれ自体が悪いと錯覚して、問題追及をメディアそのものの責任として問う人もいる。しかし、そうではない。インターネットという新しいメディアが社会化してくるなかで、このメディア特性を踏まえた新しい事象が生じている面を見過ごしてはならない。これまでは少数で目立たなかったものが顕在化した。ネット上の個人攻撃、いやがらせ、名誉毀損、プライバシーの侵害などである。これらの問題を克服してこそ、インターネット社会の成熟に向かう過程が見えてくると考えられる。それは、プロバイダーの自主規制をはじめ、インターネットユーザー各自のセルフガード、ユーザーコミュニティのモラルの向上を通して進んでいくべきだろう。

一方、インターネットのスケールが問題になってきている。次世代インターネットの在り様について、多くの場所で議論が継続され、新たなインターネットの構造が模索されている。そのなかには、この3年間にわたって論議されてきたインターネットガバナンスの大きな課題がある。スケールの急激な発展に応じた技術と管理体制が一体のものとして認識され、IANAからICANNへの移行が大きな関心事になっている。

1999年秋にはICANNが正式に発足する。そこに日本からどう参加していくのか、国際のインターネットコミュニテイと日本との関係調整も必要だ。

ここで最後に触れておきたいのは、INET2000という20世紀最後のISOC（Internet Society）の会議が2000年7月18 - 21日に横浜で開催されることに決定したことである。これを日本およびアジアのインターネットの発展にとって大きな機会であるととらえて、日本経済の復活の鍵もそこにあるとする展開をもたらすために、大規模な協力体制をもって推進して行きたい。

日本インターネット協会（IAJ）会長
高橋　徹

# 目次


インターネット年表 …… 2
日本のインターネットの動き …… 4
はじめに …… 17
掲載資料索引 …… 22

**第 1 部　インターネット利用者動向** …… 27

**第 1 章　日本のインターネット普及状況** 矢野さよみ◎アクセス メディア インターナショナル株式会社 …… 28
日本のインターネット人口 …… 28
調査概要 …… 32

**第 2 章　個人** 矢野さよみ◎アクセス メディア インターナショナル株式会社 …… 36
インターネットの利用歴 …… 36
利用中のサービス内容、満足度 …… 37
メールの利用 …… 38
利用サーチエンジン、ホームページ …… 39
利用目的、利用レベル …… 40
利用ブラウザー、利用アプリケーションソフト …… 41
通信速度、接続形態 …… 42
プロバイダー …… 43
利用時間 …… 44
インターネットに使う費用 …… 46
オンラインショッピング …… 47
犯罪・セキュリティ …… 49
家庭の情報化 …… 50
回答者のプロフィール …… 51

**第 3 章　企業** 矢野さよみ◎アクセス メディア インターナショナル株式会社 …… 53
利用状況、利用歴 …… 53
通信速度、接続形態 …… 54
プロバイダー …… 55
ドメイン、サーバー、今後の課題 …… 56
自社ウェブサイト …… 57
自社ウェブサイト、広告 …… 59
社内でのインターネット利用 …… 60
イントラネット、エクストラネット …… 61
犯罪・セキュリティ …… 62
回答企業のプロフィール …… 63

**第 4 章　非インターネット利用者** 矢野さよみ◎アクセス メディア インターナショナル株式会社 …… 64
非インターネット利用者の意識 …… 64

**第 2 部　インフラストラクチャー** …… 65

**第 1 章　通信ネットワーク** …… 66
ISDN 編集部 …… 66
移動通信 編集部 …… 67
専用線 井上尚司◎フリーランス …… 68



インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

LAN　井上尚司◎フリーランス …… 69
**第2章　プロバイダーとバックボーン** …… 70
プロバイダー事業者数　倉園佳三◎株式会社インプレス　インターネットマガジン編集長 …… 70
個人向け人気プロバイダー　倉園佳三◎株式会社インプレス　インターネットマガジン編集長 …… 71
専用線型プロバイダー　井上尚司◎フリーランス …… 72
CATV系プロバイダー　山添亮介◎KDD株式会社 …… 73
国際リンクを持つプロバイダー　小西和憲◎株式会社KDD研究所　主席研究員 …… 74
IX　中村修◎慶應義塾大学・WIDEプロジェクト …… 75
総括　通信業界再編で激動するプロバイダービジネス　中島由弘◎IPG Network,Inc. …… 76
**第3章　新技術と新サービス** …… 78
通信プロトコル　音声とデータ通信を統合するVoice Over IP　小澤貴子◎日本シスコシステムズ株式会社 …… 78
応用技術　新サービスに挑むインターネットテレフォニー
砂原秀樹◎奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター助教授 …… 79
携帯端末　携帯電話が告げたモバイル新時代の幕開け　入鹿山剛堂◎SOHO／モバイル研究家 …… 80
次世代移動通信システム　マルチメディア移動通信のインフラIMT2000
大和賢人◎フリーランス・東京マルチメディア研究所客員研究員 …… 82
アクセス系ネットワーク　競争を促すアクセス網技術の多様化　太田昌孝◎東京工業大学 …… 84
CATV業界　通信と放送の融合を目指すCATV　山添亮介◎KDD株式会社 …… 85
LAN　ギガビットから無線まで進化するLAN技術　山口英◎奈良先端科学技術大学院大学助教授 …… 86
バックボーン　高速バックボーンのためのATM、WDM、POS　山口英◎奈良先端科学技術大学院大学助教授 …… 87
メールプロトコル　メールの運用方法を変えるIMAP4　渡部直明◎株式会社オレンジソフト …… 88

**第3部　ビジネス** …… 89
**第1章　通販** …… 90
市場動向　三石玲子◎エムアンドエム研究所代表 …… 90
利用動向　三石玲子◎エムアンドエム研究所代表 …… 91
市場予測　三石玲子◎エムアンドエム研究所代表 …… 92
旅行　業界内の淘汰合戦と異業種参入始まる　山口俊明◎トラベルジャーナリスト …… 93
**第2章　決済**　加藤真澄◎有限会社エムズ・アットマーク …… 96
現状 …… 96
利用状況 …… 97
**第3章　金融** …… 99
利用規模　今泉大輔◎メディアプラネッツ有限会社 …… 99
利用状況　今泉大輔◎メディアプラネッツ有限会社 …… 100
今後の展望　今泉大輔◎メディアプラネッツ有限会社 …… 102
証券　手数料自由化に合わせていよいよ本格始動　細江治己◎サイバー・スペース・ジャパン株式会社 …… 103
**第4章　ポータルサイト** …… 104
最新動向　編集部 …… 104
米国事情　本格化するポータルのECビジネス　小池良次◎ITジャーナリスト …… 105
**第5章　出版** …… 109
発行状況　編集部 …… 109
電子メール新聞　メール広告が生んだメールマガジン産業の現在　山下憲治◎株式会社インプレス …… 111
電子出版　インターネットと共に変わる電子出版　下川和男◎株式会社イースト …… 113

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

# 目次


**第6章　放送** …… 114
利用状況　三浦文夫◎株式会社電通 …… 114
今後の展望　三浦文夫◎株式会社電通 …… 115
音楽配信　MP3が加速した世界の音楽配信プロジェクト　佐々木隆一◎NMRC代表世話人 …… 116
**第7章　広告**　四家正紀◎株式会社インプレス …… 117
市場規模 …… 117
広告の種類 …… 118
業界最新動向 …… 120

**第4部　社会** …… 121
**第1章　インターネットと犯罪・セキュリティ** …… 122
ユーザー意識調査　編集部 …… 122
インターネットと犯罪　堀部政男◎中央大学法学部教授 …… 124
不正アクセス　JPCERT/CC …… 125
スパムメール　スパムメールへの対策が急務　白橋明弘◎ネットワンシステムズ株式会社 …… 126
有害情報への対策　情報通信の不適切利用にどう対処するか　堀部政男◎中央大学法学部教授 …… 127
**第2章　教育** …… 128
小中高　越桐國雄◎大阪教育大学教授 …… 128
大学　中山雅哉◎東京大学情報基盤センター助教授 …… 132
政府の教育への取り組み　新谷隆◎国際大学GLOCOM …… 136
教育実践プロジェクト　実践サポート重視、地域型など新しい傾向が　新谷隆◎国際大学GLOCOM …… 137
技術者教育　技術者不足に対応した人材育成への取り組み　太田順子◎日本シスコシステムズ株式会社 …… 138
Web教材プロジェクト　ThinkQuestの現状と課題　坪俊宏◎ThinkQuest日本プログラム事務局事務局長・グローバルコモンズ株式会社代表取締役 …… 139
**第3章　政府・自治体** …… 140
自治体の取り組み　杉井鏡生◎インフォメーション・コーディネータ …… 140
自治体の活用事例　情報公開の流れを先取りする藤沢市のインターネット活用事例　鏑木孝昭◎インター・コミュニティ・ネットワーク理事 …… 141
中央官庁　大きな展開をみせるアクションプランの策定　廣瀬克哉◎法政大学教授 …… 142
**第4章　社会全般** …… 144
医療　越智元郎◎愛媛大学 …… 144
アクセシビリティ　WAIの活動と国内の動向－NAPの発足　中根雅文◎慶應義塾大学 …… 145
インターネットの2000年問題　グローバルにY2K問題への早急な対応を　会津泉◎アジア太平洋インターネット協会事務局長・アジアネットワーク研究所代表 …… 146
**第5章　法律** …… 148
法律　インターネットの世界で法律問題が急増　夏井高人◎明治大学教授・弁護士 …… 148
著作権　デジタル技術に関する著作権機能の問題が現実化　岡村久道◎弁護士・近畿大学講師 …… 150
特許・商標　注目を集める特許や商標の問題　松倉秀実◎弁理士 …… 152
**第6章　ドメイン** …… 154
国内のドメイン　谷村拓也◎JPNIC …… 154
ICANN　ICANNの形成でドメイン名問題は政策的な解決を見た　高橋徹◎日本インターネット協会会長 …… 155



インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

**第5部　世界** …… 157

**第1章　世界**　石田晴久◎日本インターネット協会名誉会長 …… 158
利用者数 …… 158
ホストコンピュータ数 …… 159
総括　98年度に注目したい10の出来事 …… 161

**第2章　アメリカ**　小池良次◎ITジャーナリスト …… 162
利用者数 …… 162
利用環境 …… 163
EC …… 165
通信市場 …… 166

**第3章　アジア**　会津泉◎アジア太平洋インターネット協会事務局長・アジアネットワーク研究所代表 …… 167
利用者数 …… 167
国別普及率 …… 168
法人利用者実態 …… 169
EC …… 170
総括　アジア市場を開放する自由化の波 …… 171

**付録　インターネット関連組織** …… 177

ISOC、ISOC-JP　石田晴久◎日本インターネット協会名誉会長 …… 178
IAB　太田昌孝◎東京工業大学 …… 179
IETF　太田昌孝◎東京工業大学 …… 179
ICANN　高橋徹◎日本インターネット協会会長 …… 180
World Wide Web Consortium　World Wide Web Consortium …… 180
APNIC　チョング・フォング・芳子◎JPNIC …… 181
APNG　後藤滋樹◎早稲田大学教授 …… 181
APIA　会津泉◎アジア太平洋インターネット協会事務局長・アジアネットワーク研究所代表 …… 182
APTLD　田代秀一◎電子技術総合研究所 …… 182
IAJ　高橋徹◎日本インターネット協会会長 …… 183
JPNIC　佐野晋◎JPNIC運営委員長 …… 184
JPCERT/CC　JPCERT/CC …… 184
LAP　亀田武嗣◎日本地域プロバイダー協会事務局長 …… 185
ITRC　一井信吾◎東京大学大学院数理科学研究科 …… 185
JAIRC　青山友紀◎JAIRC事務局 …… 186
JANOG　石黒邦宏◎株式会社 デジタル・マジック・ラボ …… 186

**付属CD-ROMの使い方** …… 187

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

# ［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

●記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.